

## 第4回 宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会報告

腫瘍センター事務局

平成26年12月6日(土)に第4回 宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会が山口大学医学部附属病院第2病棟6階カンファレンス室で開催されました。切れ目のない緩和ケアを実現するために、事例検討を通じて顔の見える緩和ケア連携体制の構築及び連携強化を図ることを目的とし、附属病院の職員の他にも、院外の医師、看護師、MSW、訪問看護師と様々な職種の方々が34名参加されました。

当院の吉野茂文腫瘍センター副センター長より開会の挨拶があり、当院の腫瘍センター松元満智子先生を司会として、各施設より事例提示があった後、ディスカッション形式で全体討議を行いました。

### 事例1：「大学病院から在宅緩和ケアへ移行した腎盂がん症例」

山口大学医学部附属病院 泌尿器科	藤川公樹先生
山口大学医学部附属病院 看護部	山見美央先生
ニチイケアセンター西岐波	飯田和恵先生

### 事例2：「大学病院から在宅、緩和ケア病棟へ移行した歯肉がん症例」

山口大学医学部附属病院 歯科口腔外科	堀永大樹先生
やまもとクリニック院長	山本光太郎先生
山口宇部医療センター 緩和ケア内科	片山英樹先生

参加者からは、「自宅に戻られてからの様子が良く分かってとても勉強になります。」、「多職種の立場で専門的な発表が聞けてとても勉強になりました。」、「実際に接した患者さんの事例だったので、病棟での患者さんの病態や様子を振り返ることができました。自宅へ退院してから、家族との関わりや本人の様子を確認することができました。」など多くの意見が寄せられ、有意義な検討会となり無事終了することができました。

この度は、医療機関の方々に検討会に御参加して頂き、誠にありがとうございます。本検討会は、年2回開催される予定ですので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今後ともご理解、ご協力よろしくお願い申し上げます。

《 検討会風景 》

